

第 103 回国際年次総会ラスベガス大会

2018 年第 103 回国際年次総会ラスベガス大会は、6 月 28 日から同 30 日の間、アメリカ・ネバダ州ラスベガスにおいて開催された。言うまでもなくラスベガスは、高層ホテルが林立し、世界有数のカジノの拠点として著名な街であるが、終夜大賑わいの歓楽の街でもある。

大会は、ラスベガスの中心にあるバリーズホテルと、隣接するパリスホテルで行われた。

公式参加者数は、3,666 人（前回 2010 年のラスベガス大会は、6,368 人）で、日本地区からは 35 人が出席した。



6 月 28 日（木）

1. 開会式



午後 6 時半から 9 時半の間、パリスホテル・ボールルームで開会式が行われた。アメリカ国歌演奏の後、加盟国の国旗入場、各地区ガバナーの登壇（日本地区ガバナー佐藤夫妻の姿も見られた）などに続き、ジム・ロッチフォード会長の挨拶があったが、挨拶に先立ち会場の外で通行人にキワニスの宣伝をし、その光景を会場内の大型スクリーンに投影するという演出を試みた。挨拶は、これまでと同様、会員の増強へ努力するよう強調された。

2. 日本地区夕食会

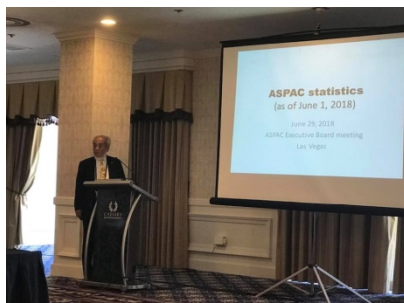
同日午後 10 時から近くのベネチアンホテル内のレストランで、恒例の日本地区夕食会が行われ、会員、家族など 30 人近くが参加した。



29 日（金）

1. ASPAC 役員会

9 時から ASPAC 役員会が開催され、日本地区からは、佐藤ガバナー、吉田次期ガバナー、北里国際理事、小田 ASPAC 地域 CFG 委員長が出席した。



席上、

- 2019年のASPAC大会は、台湾・桃園から台北へ変更、
 - KIが300までの新設クラブに350ドルを贈るのは、10月1日からの予定を9月1日からに前倒しする、
- ことなどが報告された。

2. Kコア・ワークショップ



バリーズホテル小会議室で各種のワークショップが行われた中で、10時から北里光司郎国際理事が、ブラッドレイ・スミス ローラシアン協会会長とともにKコア・プロジェクトについて講演を行った。参加者45人。主として2017年に行われた日本地区におけるアメリカの高校生のホームステイの状況の説明がなされたが、費用、実施時期、今後の展望などについて質疑が集まり、参加者の関心の高さが窺われた。

3. 総会

同日午後2時から総会が行われ、選挙の結果、次期国際副会長にアメリカ・メリーランド州のアーサー・ライリー氏が選出された。

また規約改正の投票が行われたが、その結果は次表のとおりである。



1	地区代議員総会ではなく地区役員会からKI役員会への候補を出す場合、まずKI役員会の承認を得るようにする。	可決
2	KI理事に立候補する時には前ガバナーとしての任期を終えているようにする。	可決
2への改正案	「任期を終えている」を「任期に就いたことがある」に変更。	可決
3	国際会費を半額とする家族会員制度を恒久的に採択する。	否決

4. ポコソククラブとの協定

新たにモンゴル国にキワニスクラブを新設することに関し、アメリカ・バージニア州のポコソククラブと東京クラブが共同スポンサークラブになる協定の調印が行われたことを特記しておきたい。



5. ASPAC・ヨーロッパ合同夕食会
同日夜近くのイタリアンレストランで、ASPAC・
ヨーロッパ地区の合同夕食会が行われた。

30日(土)

1. キワニスドール・ワークショップ



9時から吉田浩二日本地区次期ガバナーが、パリーズホテル小会議室で、日本地区の看板プロジェクトであるキワニスドールについて講演を行った。参加者数約50人。キワニスドールの実物を使っての説明で、参加者の関心を集めた。



2. 閉会式

同日1時半から閉会式が行われたが、型どおりの式典で、次回(アメリカ・フロリダ州オーランド)での再会を期して3日間の幕を閉じた。

なお北里光司郎国際理事は、2018年9月30日をもって国際理事の任期を満了されるが、閉会式においてその旨紹介があり、北里氏もこれに答礼された。



3. ガラタ食会



同日午後7時半からはパリスホテル・ボールルームで夕食会が開かれたが、ロッド・スチュアートのそっくりさんが登場するなど大盛況であった。

(偶然ながら同時期ラスベガスで、ライオンズクラブの世界大会も開かれたそうで、日本からの参加者2,000人の由)

(事務総長 伊藤一實)